

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年3月1日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(5日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	関東学園大学		代表者名	斉藤大二郎	
担当者部署	経済学部 経営学科		連絡先電話番号	0276-32-7869	
担当者役職	准教授	担当者氏名	中谷淳一	連絡先E-mail	
住所	373-8515 群馬県太田市藤阿久町200番地				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	太田市	連絡先部署	企画部企画政策課		
担当者氏名	齋藤尚仁	連絡先電話番号	0276-47-1892	連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	公開研究会の形で開催した第5回も、状況に応じた柔軟な対応と、的確なファシリテーションをいただきました。ありがとうございました。
アドバイザーへの要望事項	何もありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年2月13日	15時10分	17時00分		110
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数	
	自治体、金融機関、団体、企業の代表、職員、社員	80人	
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)		地域活性化に資する取り組みへの具体案と、その意欲と外部連携
	支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	研究会を通じて地域活性化に資する事業が立ち上がり、推進されている状態	
	アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	DXの本質を理解し、変化しつづけること。新たな取り組みに積極的になること、実施したことを発信していくこと	
	支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	研究会を通じて地域連携が促進され、新たな可能性が具体的に生まれました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他	
	次年度以降の継続的な研究会の開催と、拡充に向けた参加者の意識の統一が図れた。		
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特にありません。		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 3月度の研究会終了後にアンケート実施予定。		
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する	
事業の最終的な目指す姿	研究会を通じ連携を強化し、新たな取組を通じた地域の活性化		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

